

皆様、平素からお世話になっております。ENEOS 喜入基地です。常日頃から、当社の操業に深いご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

国内では、新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類相当（季節性インフルエンザ並み）に移行することに伴い、各種イベント等が徐々に再開されております。当社におきましても、昨年11月から見学受入れを再開いたしました。本年度はさらに地域の皆様との交流の機会を増やせるよう取り組んでまいりたいと存じます。これからも地域社会の発展に貢献する企業を目指してまいりますので何卒よろしくお願いいたします。



喜入基地 地域貢献活動のご紹介

出張授業「ENEOSわくわく環境・科学教室」を3年ぶりに実施

2月6日から3月1日にかけて、喜入地区の各小学校を訪問し、「ENEOSわくわく環境・科学教室」を3年ぶりに実施しました。

本教室は前半の「授業」と後半の「実験」の2部構成で実施し、前半では、石油・環境について、および蒸留装置を使った蒸留の仕組みについて授業を行いました。

また、後半の実験では石油製品の1つであるパラフィンを使ったキャンドル作りを行いました。

児童からは、「石油製品が身近にたくさんあることを学んだ」「キャンドル作りが楽しかった」「石油や環境についてよく知ることができ、楽しく勉強できた」などの感想が寄せられました。

鹿児島市長から教材等の寄贈に対する感謝状を戴きました！

当社は、長年にわたり喜入地区内の小・中学校に、本や教材等を寄贈してきましたが、このたび、その功績に対し、鹿児島市長から感謝状をいただきました。

3月24日、喜入基地事務所において、当社五十嵐取締役が、鹿児島市教育委員会田口主幹から感謝状を受領いたしました。

<授業に真剣に聞き入る子供たち>



<子供たちの力作のキャンドル>



「童話の花束」のチャリティー販売の終了について

ENEOSグループは、毎年「童話の花束」のチャリティー販売を行っており、その売上金は全て、全国の児童福祉施設などで暮らす子どもたちが大学・専門学校へ進学する際の入学支度金として活用されてきました。しかしながら、昨今の企業を取り巻く環境は大きく変化し、エネルギー・素材の安定供給を使命とする企業として求められる社会貢献活動とは何か、慎重なる検討を重ねた結果、「ENEOS童話賞（「童話の花束」チャリティー販売含む）」および「ENEOS児童文化賞・音楽賞」を終了することとし、来年度以降は形を変えて児童福祉施設等の子どもたちを対象に支援を継続していくこととなりました。

つきましては、当社も、「童話の花束」を購入した上、喜入地区内の全ての幼・保育園、小・中学校へ寄贈してまいりましたが、2022年度をもって本活動を終了する運びとなりました。皆さまには長きにわたりご愛読いただきありがとうございました。

＜童話の花束＞



環境・安全への取り組み

「第19回石油・石油ガス備蓄業務改善活動発表会」に参加

3月10日に喜入基地防災センターが、「エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）」主催の改善活動発表会に参加しました。本発表会は、全国各地から石油・石油ガス備蓄業務に携わる計21



事業所が参加し、各事業所が実施した業務改善活動を発表する場です。喜入基地防災センターは、“大容量泡放射システムホース設置における安全性向上および業務効率化について”発表しました。

発表会はオンライン形式での開催ではありましたが、喜入基地の業務改善活動を充分PRすることができました。

(発行元)

〒891-0202 鹿児島市喜入中名町 2856 番 5 ☎ 099-345-1131

ENEOS喜入基地株式会社 総務部総務グループ 【担当】中間、松久保

※本紙の次回発行は、2023年10月を予定しています。